

様式第2号(第7条関係)

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回(第27回)川島町子ども・子育て会議
開催日時		令和5年8月22日(火)午後2時00分～午後3時50分
開催場所		川島町役場 2階 中会議室
議 題		(1) 川島町子ども・子育て会議について (2) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画について (3) 公立保育園の今後の方針について (4) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴人3名)
出席者	委 員 (敬称略)	中谷 茂一、高倉 富美子、吉田 八重子、笛木 哲、柳澤 睦夫、 黒田 信行、津田 光子、茂木 久代、鈴木 克久、友光 愛、 鈴木 咲穂里、高橋 松三、矢田堀 実香
	事務局職員	子育て支援課 島村 明子、小林 覚、小島 知美、三角 奈都美
配 布 資 料		【配布資料】 資料1 令和5年度第1回川島町子ども・子育て会議 次第 資料2 川島町子ども・子育て会議について 資料3 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画について 資料4 第2期かわじま子育て応援プラン<概要版> 資料5 川島町における将来の公立保育園の方向性に関する基本 方針(案)
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 島村課長</p> <p>2 委嘱状交付 ・新たに任期が始まるため、全委員に飯島町長より委嘱状を交付しました。</p> <p>3 町長あいさつ 飯島町長</p> <p>4 川島町子ども・子育て会議会長及び副会長の選出 ・川島町子ども・子育て会議条例第5条により委員の互選によって定めることとされています。出席した委員より、会長に中谷委員、副会長に高倉委員が推薦され、各委員より承認されました。</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 川島町子ども・子育て会議について ・川島町子ども・子育て会議の役割について、川島町子ども・子育て会議条例及び子ども・子育て支援法を基に説明しました。</p> <p>(2) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画について ・第2期川島町子ども・子育て支援事業計画について、第2期かわじま子育て応援プランを基に説明しました。</p> <p>(3) 公立保育園の今後の方針について ・川島町の公立保育園における、将来の方向性や今後のスケジュール決定について説明しました。その中で、勤務する保育士や在園児の保護者へアンケート調査を実施している旨や基本方針決定後、令和6年9月までに廃園までのスケジュールについて</p>		

て検討していく旨を説明しました。

(4) その他

- ・今後の会議予定について、第2期川島町子ども・子育て支援事業計画の変更や第3期川島町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けてご意見をいただく予定である旨を説明しました。
- ・川島町子ども・子育て会議の委員について、非常勤特別職となり、会議への出席に対して報酬及び費用弁償が支給される旨を説明しました。
- ・本日の会議及び会議録は公開、かつ会議録は要点筆記である旨を説明しました。
- ・会議録の署名委員は1号委員の高倉委員と3号委員の鈴木委員に依頼しました。

6 閉会 高倉副会長

ご意見まとめ

(1) 川島町子ども・子育て会議について
意見等なし。

(2) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画について

【会 長】子育て短期支援事業は量の見込み、確保方策とも0人ですが、利用希望の方がいた場合はどうするのですか。

【事務局】計画時点では0名でしたが、現在は延べ10名分の予算を確保しています。実際の利用はこれまでありませんが、町民の方へ事業についてお伝えする機会は何度かありました。

【会 長】現在は10名分の予算を確保したということですが、ホームページなどに確保したことは掲載されていますか。

【事務局】ホームページに掲載されている計画は、当初の内容のままです。次回以降の会議で、第2期川島町子育て支援事業計画の変更について協議を行い、変更する予定です。

【会 長】資料4 10ページ⑩病児・病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の具体的内容に書かれている緊急サポート事業とは、どのような事業ですか。

【事務局】児童の発熱により保育園に迎えに行かなければならないけれど仕事を休めない時などに、保護者に代わりサポーターの方が緊急的にお預かりするという事業です。

【会 長】サポーターの方は町内の方ですか。

【事務局】主に町内の方が対応しますが、町内のサポーターで対応できない場合は、町外のサポーターが対応することもあります。

(3) 公立保育園の今後の方針について

【委 員】公立保育園職員へのアンケート調査の結果、全員がけやき保育園を残したいという意見であったということですが、どのような理由ですか。

【事務局】主な理由が4点あり、①近くに平成の森公園等があり保育環境が良い、②さくら保育園は近隣への配慮が必要である、③役場が近く災害時等に緊急対応がしやすい、④駐車場が確保しやすい、というものでした。

【委 員】さくら保育園は、建設されてからまだ19年しか経っていないため新しい建物です。けやき保育園は耐用年数を考えると今のまま使えないので、建て直しとなると、かなりコストがかかるのではないのでしょうか。

【事務局】既存施設の利用方法も踏まえて、廃園の方針を検討します。

【委員】 さくら保育園では近隣の方から苦情があったことから、園庭の利用時間を年齢で分けて使用しています。そのため、子どもたちがのびのびと遊べない状況です。

【副会長】 20年前に建設した時点では、近隣の方も子育て世代であったり、仕事で家にいないなどの理由で苦にならなかったのではないかと思います。20年経って自宅から子どもがいなくなり、静かに暮らしたい、となると子どもの声が気になるのではないのでしょうか。他市でも学校や保育園等が迷惑施設になっているという現実がありますので、この先、5年、10年後には、もっと苦情が出てくるかもしれないと感じました。

【委員】 ニュースなどでも見かけますが、苦情を全部受け入れてしまうと小学校もなくなってしまうのではないかと危惧しています。

【委員】 川島幼稚園の閉園や小学校の統合など、これまでも色々な変化がありました。が「1年後なくなります」と言われても「どうして」と保護者は気持ちが追い付きません。廃園に関する予定をホームページで公表するなどしてほしいです。役場にもかなり問い合わせが来るとは思いますが、意見があればここで対応しますということを書いてほしいです。以前は地域説明会でしか意見をいう場がなかったため気持ちが爆発する保護者が多く、予定時刻を超過していました。メールでの配信もしてほしいです。結果としては良かった、となっても、その前は不安に感じる方が多いと思います。

【事務局】 保護者や児童に寄り添い、検討していきます。また、ホームページでの公表やメール配信など様々な手段を用いて、皆さんの目に届くような形で進めます。

【会長】 川島町に公立保育園を残す有用性について、答申書には民間化された場合、企業に撤退されると受け皿がなくなってしまうという点が挙げられていたと思います。公立は赤字になっても町民の理解を得られれば必要な事業が続けられるという強みがあります。重要な点だと思しますので、基本方針に記載してほしいです。

【副会長】 私立幼稚園が認定子ども園になる際に定員が210人に減るのは、子どもが減少しているからですか。

【委員】 子どもが減少しているからです。ただし、現在の園舎では足りませんので、新たに施設の建設を行います。

【会長】 目安として、いつまでに廃園に関する方針を決定するか、基本方針に記載できますか。

【副会長】 令和6年9月までに廃園のスケジュールを確定します、という文言を記載してほしいです。

【事務局】 目標として、資料5 6今後についての箇所に廃園までのスケジュールについて追記します。

署名	高倉 富美子
	鈴木 克久